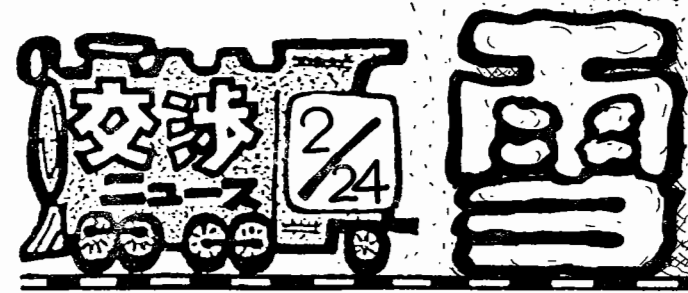


勝利争闘ジェット塚三里 / 粉碎粉革行 / 調臨



# 無策無策 対策の安全保安 運輸の であばかいた 当局の

## 合理化強行による『人災だ！』

~~~~~

動労千葉は、二月二四日、「申 第五号」（災害時等における動力車乗務員の勤務に関する申し入れ）に対する回答を受ける前段で、二月十七日、十八日に発生した雪害に際しての運転保安上の対応について、当局の考え方を明らかにするよう追及しました。

~~~~~

「天災だ」と責任逃れに終始する 当局を追及

これに対し当局は、「雪害対策本部を設置し、充分な要員配置をして万全の体制をとったが、ベタ雪であり風が強かった等の理由で混乱が生じた」と言い訳にもならない理由をあげつつ、20cm / 30cmの積雪によるポイントの不転回、パンタグラフの降下による列車の立ち往生、倒木による線路支障、踏切内での自動車の立ち往生、香取―銚子、松尾―銚子間の停電による列車運行ストップという大混乱のすべてについて、「天災だからやむをえなかった」と責任のがれに終始しました。

これに対しわれわれは、成田線六本、総武本線四本の列車内に乗務員、乗客を長時間にわたってとじこめたこと、外房線での前面ガラスの破損、久留里線での倒木による線路支障等に見られる様に当局の雪に対する状況判断のあまき、適切な要員の配置、列車指令による正確な列車の把握がなかったことを中心に具体的事実をもって当局を追及しました。また、この間の合理化事案や運転保安の団体交渉のなかで当局が「五年や十年に一度起こるような異状時、災害時には列車を止めてもやむをえない」と言ったにもかかわらず「一本も列車を止めるな」という形で無理な列車運用をしたことなど具体的には「57・11」、検修下回り、「59・2」等の合理化による人減らし先行、経費節減、運転保安無視の施策に原因があることを明らかにし無責任な当局の姿勢を弾劾しました。

動乗勤改悪につながる攻撃

これまで動労千葉は、災害時等における動力車乗務員の勤務の取り扱いのなかで勤務の変更（作業変更）について原則としてこれを認めない立場をとってきたところですが、当局は、この間の雪等で列車運行が乱れたときに、乗務員の休養、食事、疲労等を何ら考えずに当局の言う「安定輸送のみを優先させ作業変更」を強要してきました。こうした当局の不当な取り扱い、いわゆる「動乗勤改悪」

につながる攻撃を許さず、同時にわれわれの労働条件を守ってゆく立場から次の内容で申五号を発売してきた経緯があります。

（申五号の内容）  
一 動力車乗務員の勤務の変更（作業変更）については、基発一六九〇号の見解通り、これを行わないこと。ただし「動力車乗務員の災害時における勤務の取り扱いに関する協定」および「同協定の一部改正に関する協定」に定める場合は除くこととする。  
二 前項ただし書き以外で勤務の変更を行うことは、事前に労働組合と協議し、その労働条件を定めた後とすること。

合理化強行による人災だ

しかし、その後二月十七日、十八日の雪害問題が発生したことに踏まえ、前述のような交渉の展開となりました。  
われわれは、今回の雪における混乱について再度「57・11」検修下回り、「59・2」等の合理化のなかで安全運行を期するための人員や手当などの処置を怠ってきた弊害であり人災であるとし、次回の交渉で当局の責任ある答えを出すよう申し入れて交渉をうちきりました。

四街道市議選に勝利しよう

本年初の地方選挙、四街道市議選がはじまりました。動労千葉は、県労連および社会党からの要請をうけ、林田和三郎候補の推せんを決定しました。  
林田候補の必勝にむけ、組合員家族の協力を要請します。

林田和三郎 候補（社現）  
投票日 3月4日（日）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！